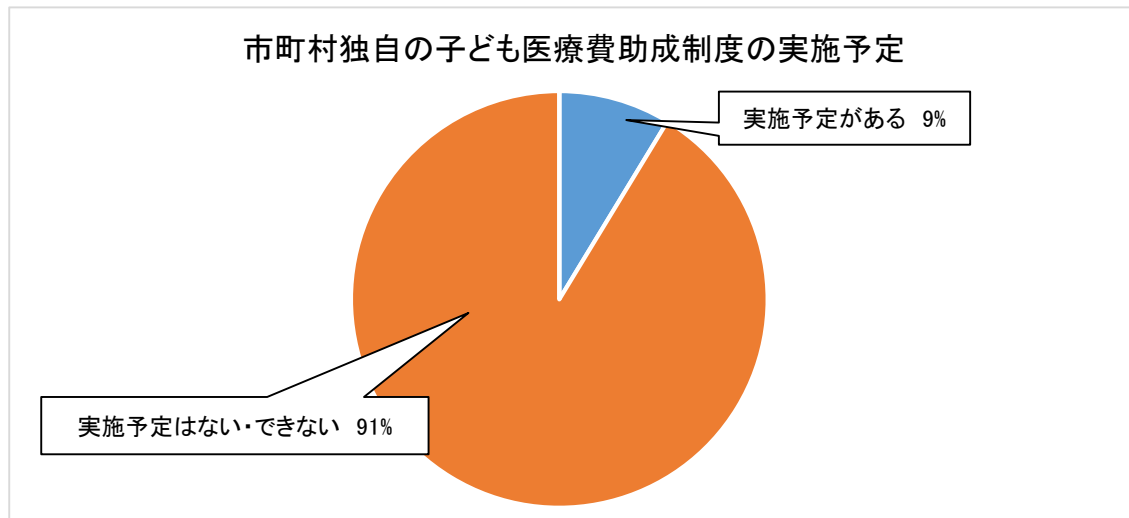


子ども医療費の助成制度実施に関するアンケート結果

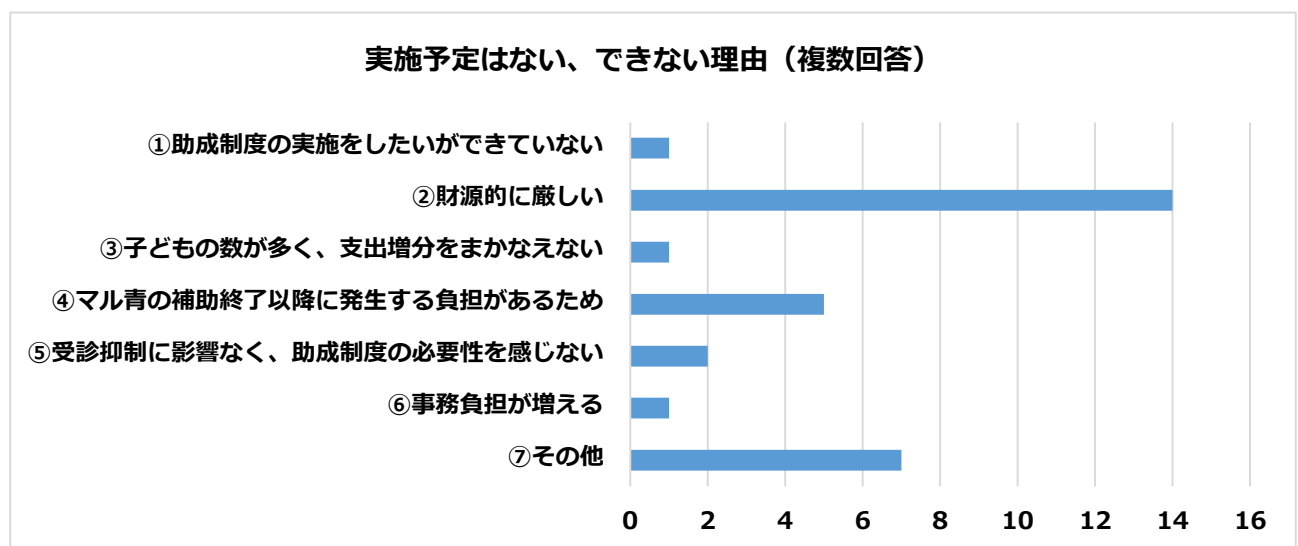
1. 東京都では、15 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日まで(マル子)(2023 年 4 月からは 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日まで(マル青))「1 回の受診につき、上限 200 円」の自己負担分を除き、所得制限を設けたうえで、区市町村に補助をしています。「1 回の受診につき、上限 200 円」の自己負担分について、市町村が独自で助成制度を実施する予定はありますか？



◇実施予定がある 2 件

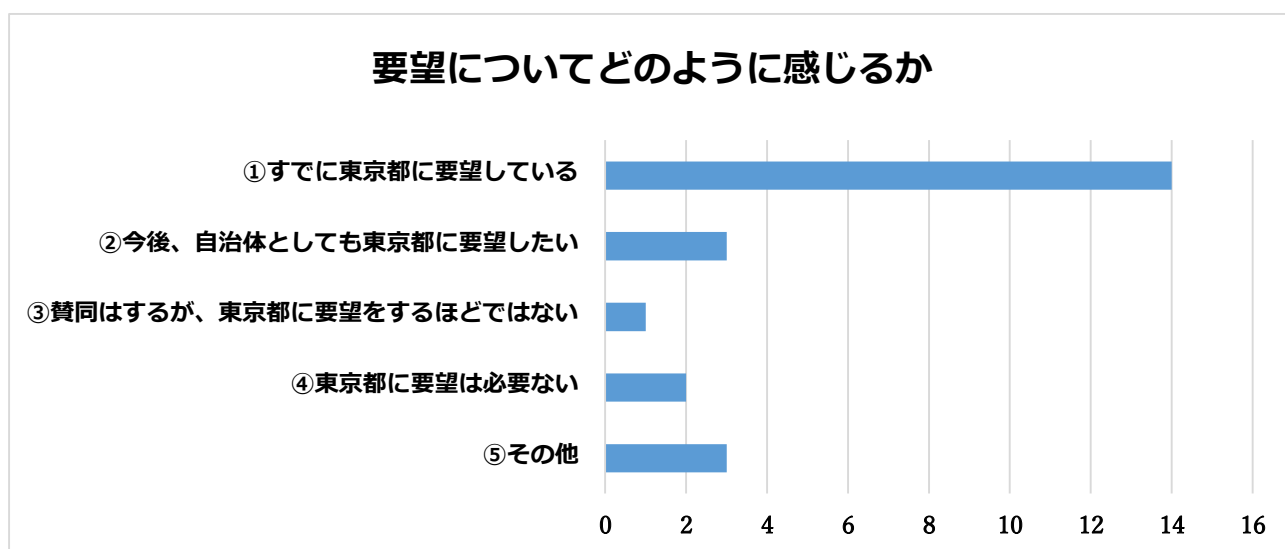
◇実施予定はない、できない 21 件

→ 実施予定はない、できない理由で当てはまるものすべてに○をしてください。



- ① 独自で助成制度の実施をしたいができていない 1 件
- ② 財源的に厳しい 14 件
- ③ 子どもの数が多く、支出増分をまかなえない 1 件
- ④ マル青の導入に伴い、東京都の補助が終了する 2026 年度以降に発生する負担増分があるため 4 件
- ⑤ 「1 回の受診につき、上限 200 円」の自己負担は、受診抑制に影響を与えていないと考えるため、助成制度の必要性を感じない 2 件
- ⑥ 事務負担が増える 1 件
- ⑦ その他 5 件
 - ・現在、所得制限、一部負担金の撤廃について検討中。
 - ・助成制度の拡充について検討中である。
 - ・医療機関へのコンビニ受診を抑制するために、一定の負担額は必要と考える。
 - ・今後の研究課題であると考えています。
 - ・東京都、東京都市長会と連携し、地区の医師会とも調整を図りながら進めてまいりたいと考えています。
 - ・令和5年4月1日から、市独自で中学生の保護者の所得制限を撤廃し、対象者を拡大するために、今後の市の財政状況を見ながら検討していきたい。
 - ・東京都の制度の範囲内で事業を実施している。

2. 当協会では、東京都に対して、「1 回の受診につき、上限 200 円」の自己負担分も含めて、18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの医療費を助成するよう求めています。この要望についてどのように感じますか？



- ① すでに東京都に要望している 13 件
 - ・マル子及び高校生等医療費助成制度の補助と都内格差の是正。
 - ・少子化対策の視点からも拡充すべき。市長会を通じて要望。
 - ・全ての子どもが平等に医療サービスを受ける機会を確保するため。
 - ・市長会として要望済み。
 - ・都が主導して実施する制度のため。
 - ・東京都市長会の要望であげている(毎年)。

- ・自治体の財政力により助成内容に差がある現状の改善が必要と感じています。
- ・地域間(区部等)との格差を解消したいため。
- ・東京都市長会より都内に住むすべての子どもが平等に医療サービスを受けられる機会を確保するように要望している。

②今後、自治体としても東京都に要望したい 2 件

- ・一部負担金(200 円)なしの自治体もあるため。
- ・区部と多摩地区の格差の解消。

③賛同するが東京都に要望を出すほどではない 1 件

- ・市長会から都へ要望しているため、市独自で要望は行わない。

④要望は必要ない 2 件

- ・所得制限撤廃を優先したいため。
- ・「1 回の受診につき、上限 200 円」の自己負担は必要と考えるため。

⑤その他 3 件

- ・貴協会が東京都に対して上記要望をなさることについて、特段の意見はありません。
- ・特になし。
- ・東京都、東京都市長会と連携し、地区の医師会とも調整を図りながら進めてまいりたいと考えています。

3.子どもの医療費助成制度(マル子、マル青)について、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・都財政の拡充(所得制限の撤廃、通院の全額助成)、マル青の財政負担について、都が恒久的に補助する仕組み等、今後、子育て支援担当部長会または市長会等を通じ都へ要望していきたい。